

日野市高齢者福祉総合計画策定のための介護サービス事業所調査

事業所の概要について

問1 貴事業所の活動状況について

①法人形態を選んでください。

- 1. 社会福祉法人
- 2. 医療法人
- 3. 社団法人、財団法人
- 4. 協同組合(生協、農協)
- 5. 営利法人(会社)
- 6. 特定非営利活動法人(NPO 法人)
- 7. その他の法人()

②貴事業所で提供している介護保険サービスの種類を選んでください。

- 1. 訪問介護
- 2. 通所介護
- 3. 地域密着型 通所介護
- 4. 訪問看護
- 5. 訪問リハビリテーション
- 6. 通所リハビリテーション
- 7. 訪問入浴介護
- 8. 短期入所生活介護
- 9. 短期入所療養介護
- 10. 介護老人福祉施設
- 11. 介護老人保健施設
- 12. 特定施設入居者生活介護
- 13. 小規模多機能型居宅介護
- 14. 認知症対応型通所介護
- 15. 認知症対応型共同生活介護
- 16. その他()

③併設する事業所で提供しているサービスの種類をすべて選んでください。

- 1. 地域包括支援センター
- 2. 居宅介護支援
- 3. 訪問介護

- 4. 通所介護
- 5. 地域密着型通所介護
- 6. 訪問看護
- 7. 訪問リハビリテーション
- 8. 通所リハビリテーション
- 9. 訪問入浴介護
- 10. 短期入所生活介護
- 11. 短期入所療養介護
- 12. 介護老人福祉施設
- 13. 介護老人保健施設
- 14. 特定施設入居者生活介護
- 15. 小規模多機能型居宅介護
- 16. 認知症対応型通所介護
- 17. 認知症対応型共同生活介護
- 18. 居宅療養管理指導
- 19. 住宅改修・福祉用具
- 20. 病院・診療所
- 21. サービス付き高齢者向け住宅
- 22. 21以外の集合住宅
- 23. 障害福祉施設
- 24. その他()

問2 職員について

(1) 貴事業所の在籍職員数、過去1年間(令和3年4月～令和4年3月)における採用者数・退職者数についてお答えください。また、今年(令和4年)、新規に採用する予定はあります(した)か。(複数の資格をお持ちの方は、すべてご記入ください)

職種	在籍職員数 (令和4年10月末現在)	昨年中に 採用した 職員数	昨年中に 退職した 職員数	今年の 採用 予定者数
①事務管理者	人	人	人	人
②介護支援専門員	人	人	人	人
③介護福祉士	人	人	人	人
④実務者研修修了者				
⑤介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)	人	人	人	人
⑥無資格の介護職員	人	人	人	人

⑦精神保健福祉士	人	人	人	人
⑧社会福祉士	人	人	人	人
⑨医師	人	人	人	人
⑩保健師・看護師	人	人	人	人
⑪管理栄養士・栄養士	人	人	人	人
⑫薬剤師	人	人	人	人
⑬理学療法士	人	人	人	人
⑭作業療法士	人	人	人	人
⑮言語聴覚士	人	人	人	人
⑯歯科衛生士	人	人	人	人
⑰あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・柔道 整復師	人	人	人	人
⑱認知症介護基礎研修受講者	人	人	人	人
その他()	人	人	人	人

(2)各職種の採用状況は、過去 1年間（令和3年4月～ 令和4年3月）いかがでしたか。それぞれの職種について、あてはまる内容を1つ選んでください。

①事務管理者

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

②介護支援専門員

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

③介護福祉士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

④実務者研修修了者

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑤介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑥無資格の介護職員

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑦精神保健福祉士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑧社会福祉士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑨医師

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑩保健師・看護師

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑪管理栄養士・栄養士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑫薬剤師

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑬理学療法士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑭作業療法士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑮言語聴覚士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑯歯科衛生士

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑰あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・柔道整復師

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

⑱認知症介護基礎研修受講者

- 1. 採用できている
- 2. 採用できるが応募が少ない
- 3. 採用が困難
- 4. 募集を行わなかった

(3)各職種は充足していると思いますか。それぞれの職種について、あてはまる内容を選んでください。

①事務管理者

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

②介護支援専門員

- 1. 充足している

- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

③介護福祉士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

④実務者研修修了者

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑤介護職員初任者研修修了者(旧ヘルパー2級)

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑥無資格の介護職員

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑦精神保健福祉士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑧社会福祉士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑨医師

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑩保健師・看護師

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑪管理栄養士・栄養士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑫薬剤師

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑬理学療法士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑭作業療法士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑮言語聴覚士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑯歯科衛生士

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑰あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師・柔道整復師

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

⑱認知症介護基礎研修受講者

- 1. 充足している
- 2. やや不足している
- 3. 大幅に不足している
- 4. 事務所には必要ない

問3 人材確保で問題になることはどのようなことですか。思い当たるすべての内容を選んでください。

- 1. 募集しても応募がない
- 2. 良質な人材が集まらない
- 3. 応募があっても、待遇等の条件があわない
- 4. 募集に費用がかかる
- 5. 派遣に頼らざるをえなくなる
- 6. 採用しても定着しない
- 7. その他()

問4 貴事業所では、人材を確保するためにどのような取り組みを行っていますか。行っている取り組みをすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 新規採用枠の拡大
- 2. 中途採用枠の拡大
- 3. 就業時間の見直し
- 4. 福利厚生の充実
- 5. 処遇の改善
- 6. 研修会への参加支援
- 7. 資格取得の支援
- 8. 苦情・相談の充実
- 9. 同一法人内での事業所間の人事交流・配置転換
- 10. 人材派遣の活用
- 11. 求人広告掲載
- 12. その他()

問5 人材確保のために、有効と思われる対策は何ですか。次の1~16 から、よりよいと思われる対策を5つまで選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 給与水準の向上を図る
- 2. 執務環境(設備、備品、情報システム化)の向上を図る
- 3. 職場の人間関係や雰囲気の向上を図る
- 4. 駅周辺等、交通の便の良いところに事業所を開設する
- 5. 研修機関との関係作りを行い、卒業生のあっせんにつなげてもらう
- 6. 研修 生や職業体験学生(インターン)を受け入れる
- 7. 事業所、法人の知名度の向上を図る

- 8. 事業所内で、先進的なケアマネジメントの取組みを行い、発信する
- 9. 法人の規模の拡大を図る
- 10. 市内で介護支援専門員資格の取得のための研修を行う
- 11. 既に勤務している介護支援専門員を対象とした研修を行う
- 12. 市内の複数の事業所で連携し、集団面接会を開催する
- 13. 市内で人材バンクを設立する
- 14. 経験ない職員でもわかるような手順書を整備する
- 15. 市が呼びかけた研修に参加する
- 16. その他()

問6(1) 日野市からの情報提供ツールである日野市ケア倶楽部を見たことがありますか。どちらかを選んでください。

- 1. ある → (1)-1へ
- 2. ない → 問 7(1)へ

(1)-1 日野市ケア倶楽部をどのような頻度で見えていますか。あてはまる内容を1つ選んでください。

- 1. 毎日見ている
- 2. 掲載メールを受信したときに見ている
- 3. 市からの電話を受けて見ている
- 4. その他()

問7 サービスの質について

(1) 貴事業所のサービスの質を自己評価すると、以下のどれに当てはまるか1つ選んでください。

- 1. 優れている
- 2. 比較的良好である
- 3. 改善の余地がある → (2)へ
- 4. 改善の余地が多々ある → (2)へ

(2) その理由は何ですか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 利用者数が伸びていない
- 2. 利用者からの不満の声がある
- 3. 職員が定着しない
- 4. 人員不足が続いている
- 5. 職員の能力の差が大きい
- 6. 経営状況があまりよくない
- 7. その他()

問8 経営状況について

(1)貴事業所の経営状況(令和3年4月1日～令和4年3月末)は、いかがでしょうか。1つ選んでください。

1.良かった 2.さほど悪くない 3.悪かった → (2)へ

(2)理由について、あてはまると思われる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1.利用者が少ない
2.支出が増加した
3.新型コロナウイルス感染拡大の影響
4.その他()

利用者の状況

問9 介護保険サービスの利用者について

(1)1日あたりの平均的な利用者数(令和4年10月1日～31日)を教えてください。

_____人(定員数 _____人)

(2)年齢区分別の利用者は何人ですか。

1.65歳未満:_____人 2.65～74歳:_____人 3.75歳以上:_____人

(3)要介護度別の利用者は何人ですか。あてはまる要件をすべて選び、その人数を教えてください。

(令和4年10月1日～31日)

- 1.自立(認定待ち)_____人
2.事業対象者 _____人
3.要支援1_____人
4.要支援2_____人
5.要介護1_____人
6.要介護2_____人
7.要介護3_____人
8.要介護4_____人
9.要介護5_____人

問10 サービス利用の待機状況について

(1)サービス利用を申込み、待機しているかどうかを選び、いる場合はその人数を教えてください。

1.いる(市内 _____人、市外 _____人)→ (2)へ 2.いない →問11へ

(2)待機者がいる場合、申込みからサービス利用までの平均的な待機期間はどの程度ですか。

平均 _____か月

問11 サービスの終了者について

過去1年間(令和3年4月1日～令和4年3月末)にサービスを終了された方々にあてはまる理由をすべて選び、それぞれの人数を教えてください。その他の場合は具体的にお答えください。

【死亡による】

1-① 居宅・入所(居)先施設内で(人)

1-② 入院先の医療機関で(人)

【 契約解除による退去】

2-① 病気治療のため医療施設等に入院するため (人)

2-② 利用者の心身の状態から他の介護施設・住宅に移住するため (人)

2-③ 利用料の支払が難しくなるなど 経済的事情から (人)

2-④ サービス内容に関する不満やトラブルがあったため (人)

2-⑤ 家族・親族との同居・近居のため (人)

2-⑥ その他(人:理由)

問12 2021 年8月に行われた補足給付の見直しもしくは負担割合変更等により利用者負担金が増加しています。この影響が利用者のサービス利用状況に現れていると思いますか。あてはまる内容を選んでください。

1. 利用頻度が減った利用者がある

2. 利用を取りやめた利用者がある

3. 利用者の利用状況に変化はみられない

問13 災害時において貴事業所が行える協力があるとしたら、どのようなことができるか、すべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

1. 施設の開放

2. 車両の貸し出し

3. 人的援助

4. 他市の事業所から食事の提供

5. サービス利用者の安否確認

6. その他()

問14 医療的ケアについて

(1) 貴事業所では、常時次のような医療的ケアが必要な方に対し、介護サービス(医療行為は含まない)の提供をすることは可能ですか。可能な選択肢すべてを選び、現在の利用者の人数をお答えください。

1. 点滴の管理 (人)

2. ストーマの処置(人)

3. 気管切開 (人)

4. 中心静脈栄養(人)

5. 痰の吸引 (人)

6. 在宅酸素療法(人)

7. 疼痛の管理 (人)

- 8. 人工透析 (人)
- 9. レスピレーター(人)
- 10. 経管栄養 (人)
- 11. じょくそう (人)
- 12. 留置カテーテル(人)
- 13. インスリン (人)
- 14. その他 (処置内容: 人)
- 15. いずれの医療的ケアが必要な方に対しても、介護サービスを提供できない → (4)へ

(2)1~14 までの医療的ケアが可能と答えた事業所では、どのような職種がそのケアを提供しているか、あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 看護職が提供している
- 2. 法的に要件が緩和された範囲で、介護職により提供している
- 3. その他()

(3)1~14 までの医療的ケアが可能と答えた事業所では、医療的ケアを必要とする方に対するサービス提供の体制は、十分だと思うか、どちらか1つを選んでください。

- 1. 十分な体制である
- 2. 十分とは言えない

(4)医療的ケアを必要としている方へのサービス提供について、今後、積極的に取り組むお考えがあるか、どれか1つを選んでください。

- 1. 積極的に取り組みたい → (5)へ
- 2. 積極的には取り組めない → (6)へ
- 3. わからない ⇒問 15(1) へ

(5)どのような取り組みをお考えですか。考え得るすべての取り組みを選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 看護職を増やす
- 2. 一部の医療行為について提供可能な介護職を増やす
- 3. 介護職に、医療的ケアの知識等に関する研修を行う
- 4. 訪問看護事業所との連携を深める
- 5. 診療所・病院との連携を深める
- 6. その他()

(6)積極的に取り組めない理由としてあてはまるものすべてを選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 看護職を確保できないため

- 2. 医療的ケアの一部を対応可能な介護職の確保が難しいため
- 3. 介護職が、医療的ケアの一部を対応するための研修を受けるのが難しいため
- 4. 医療的ケアに関する職員向けの研修をすることが難しいため
- 5. 医療的ケアを要する高齢者へのサービス提供はリスクが高いため
- 6. 介護事業所は、医療的ケアに対応する必要はないと考えているため
- 7. 採算上難しいため
- 8. 訪問診療・往診を行う医師(病院・診療所)との連携が難しいため
- 9. 訪問看護事業所との連携が難しいため
- 10. 利用者側のニーズが見込めないため
- 11. 既に医療職の確保や介護職による医療的ケアの提供に先進的に取り組んでいるため
- 12. その他()

問15 「看取り」への取り組みについて

(1)延命治療を希望せず、現在お住まいの所(居宅・施設)での看取りを希望する利用者について、貴事業所では、どのように対応されていますか。あてはまる内容を1つ選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 看取りの希望の有無を利用者から事前に確認し、看取りを希望する場合は、サービス提供を辞退している → (2)へ
- 2. 看取り時の対応について、利用者と事前に文書を締結し、看取りを行っている → 問16(1)へ
- 3. 看取り時の対応について、特に明文化していないものの、看取りを行っている → (3)へ
- 4. 看取りについて、意識したことはない → 問15(1)へ
- 5. その他()

(2)看取りのサービス提供を辞退する理由としてあてはまる内容をすべて教えてください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 看取りに関する職員向けの研修をすることが難しいため
- 2. 看取りを希望する高齢者へのサービス提供はリスクが高いため
- 3. 介護事業所は、看取りに対応する必要はないと考えているため
- 4. 採算上難しいため
- 5. 往診を行う医師(病院・診療所)との連携が難しいため
- 6. 訪問看護事業所との連携が難しいため
- 7. 利用者側のニーズが見込めないため
- 8. 看取りに関する法的課題等の整理が難しいため
- 9. 看取りを本当に希望しているかどうかの意思確認が困難であるため
- 10. 家族との調整が困難であるため
- 11. その他()

(3)利用者が、自分の最期をどこでどのように迎えたいか、意思を確認していますか。どちらか1つを選んでください。

- 2. どちらかと言えば取れている
- 3. どちらかと言えば取れていない
- 4. ほとんど、又は全く取れていない

(3) どのような時に連携が必要と感じますか。あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. サービス提供中、利用者の 病状・病態が急変したとき、対応を相談するため
- 2. サービス提供中、利用者の病状・病態が急変したとき、看取りや延命治療の希望の有無について、かかりつけ医に確認するため
- 3. サービス提供中、看取りを希望する利用者の最期を迎えることとなったとき、かかりつけ医等に緊急往診してもらうため
- 4. その他()

(4) 夜間、緊急に看護や往診等のサービスが必要になったことがあるか、どちらかを選んでください。

- 1. ある
- 2. ない

事業所の課題について

問18(1)貴事業所における介護保険事業運営上の問題は何ですか。あてはまる内容を3つまで選んでください。

- 1. 良質な人材の確保が難しい → (2)へ
- 2. 新規利用者の確保が難しい
- 3. 介護従事者の介護に関する知識や技術が不足している
- 4. 介護従事者の介護に臨む意欲や姿勢に問題がある
- 5. 教育・研修の時間が十分に取れない
- 6. 管理者の指導、管理能力が不足している
- 7. 介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われている
- 8. 他の介護事業所との連携が難しい
- 9. 地域包括支援センターとの連携が難しい
- 10. 居宅介護支援事業所との連携が難しい
- 11. 診療所(病院)との連携が難しい
- 12. その他()
- 13. 特に問題はない

(2)人材確保ができないことで、どのような影響がありましたか。あてはまる内容をすべて選んでください。

- 1. サービスの定員を縮小せざるを得なかった
- 2. 困難ケースの受け入れができなくなった
- 3. 需要にあわせた新規の拡張ができなくなった
- 4. 指導を要する職員に対して、時間をかけて研修や指導がしにくくなった

- 5. 職員の士気が低下した
- 6. 過重労働になった
- 7. 職員の定着率が低下した
- 8. 派遣職員を使わざるを得なくなり、職員の給与を上げづらくなった
- 9. 人材募集に多大な費用をかけることになり、職員の給与を上げづらくなった
- 10. 定期的な人事異動ができなくなった
- 11. 産休などがとりづらくなった
- 12. その他()
- 13. 特に問題はない

問19 貴事業所の介護保険事業収入に対する派遣職員の人件費及び人材紹介手数料支出のおよその割合を教えてください。

派遣職員の人件費	%程度
人材紹介手数料	%程度

問20 人材不足のために貴事業所の介護サービスを求める利用者に利用を断ったり、事業規模を縮小をしたりしたことがありますか。あてはまる内容を選んでください。

- 1. 介護サービスの利用を断ったことがある
- 2. 縮小したり、中止した事業がある
- 3. 特に影響はない

問21 (1)摂食嚥下の評価を受けたことがあるか、教えてください。

- 1. ある
- 2. ない

(2)摂食嚥下のケアが必要な方はどれくらいいますか。人数をお答えください。

() 人

IoT の活用について

問22 貴事務所で実施している内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 各種記録の電子化(ペーパーレス化)
- 2. 職員 にタブレットを支給し、記録等をそこで記入する
- 3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
- 4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
- 5. 機器を活用した利用者の睡眠や健康の管理
- 6. 介護ロボット等の導入
- 7. その他()

問23 貴事業所で IoT 化を進める上での課題について、思い当たる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 職員の意識・理解度に温度差がある
- 2. 専門的知識をもつ人材が不足している
- 3. 日常業務が忙しく、じっくり取り組む時間がない
- 4. 予算が限られている
- 5. 介護ロボット等の導入しても生産性の向上が図られない
- 6. 配置基準の緩和により運営が継続できない
- 7. その他()

問24 貴事務所では今度、IoT等をどのように活用していきたく、あてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 各種記録の電子化(ペーパーレス化)
- 2. 職員にタブレットを支給し、記録等をそこで記入する
- 3. PHR等を活用した医療機関との患者情報の共有
- 4. 遠隔監視できる機器の活用による安否確認
- 5. 機器を活用した利用者の睡眠や健康の管理
- 6. 介護ロボット等の導入
- 7. その他()

※IoTとは、さまざまなものがインターネットに接続され、情報交換等ができるような仕組み

※PHRとは、患者が自らの医療や健康に関する情報を収集した上で、医療機関等に提供する仕組み

以降の設問は、提供されているサービス内容により回答いただく事業所を限定しています。貴事業所の提供サービスが該当する区分を以下から選択し、区分の指示に従って、回答願います。

- ① 訪問介護事業所は、問25へ
- ② (地域密着型)通所介護、認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション事業所は、問29へ
- ③ 特別養護老人ホームは、問33へ
- ④ 老人保健施設は、問37へ
- ⑤ 認知症対応型共同生活介護事業所は、問39へ
- ⑥ その他の事業所は、問42へ

訪問介護事業所におたずねします

問25(1) 介護予防・日常生活支援総合事業について、貴事業所では、経済的に余裕のない利用者に対し、安価で無資格者が行うサービスを勧めたいと思いますか。

1. 勧めたいと思う → 問26へ 2. 勧めたいとは思わない → (2)へ

(2)勧めたいとは思わない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 他の利用者とサービス内容を区別することが難しいため
- 2. 手続きが煩雑なため
- 3. 制度を良く知らないため

- 4. 報酬単価が安く専門職の人材を配置しているため、事業所の経営が成り立たないため
- 5. 無資格者を確保するのが困難であるため
- 6. 有資格者への配慮のため
- 7. 社内での研修など無資格者を育成することが困難であるため
- 8. その他()

問26(1) 訪問介護(ホームヘルプサービス)に従事する職員数についてお答えください。(令和4年10月末時点)

正規職員()人 非正規職員()人

(2)訪問介護(ホームヘルプサービス)に従事する職員一人当たりの実労働時間数をお答えください。(令和4年10月末時点)

正規職員()時間/人 非正規職員()時間/人

問27(1)独居高齢者の安否確認を受けたことはありますか。どちらか1つを選び、ある場合は、最近1年間(令和3年4月1日～令和4年3月末)のおよその回数を教えてください。

1. ある(最近1年間で 回数程度)→ (2)へ 2. ない

(2)安否確認の結果、亡くなっていた件数を教えてください。

()件

問28 利用者のうち、ヤングケアラーと思われる介護者は把握していますか。およその件数を教えてください。

()件

→ 問42へお進みください

(地域密着型)通所介護、認知症対応型通所介護、通所リハビリテーション事業所におたずねします

問29(1)独居高齢者の安否確認を受けたことはありますか。どちらか1つを選び、ある場合は、最近1年間(令和3年4月1日～令和4年3月末)のおよその回数を教えてください。

1. ある(最近1年間で 回数程度)→ (2)へ 2. ない

(2)安否確認の結果、亡くなっていた件数を教えてください。

()件

問30 利用者のうち、ヤングケアラーと思われる介護者は把握していますか。およその件数を教えてください。

()件

(地域密着型)通所介護におたずねします

問31(1)介護予防・日常生活支援総合事業について、貴事業所では、経済的に余裕のない利用者に対し、安価で無資格者が行うサービスを勧めたいと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 勧めたいと思う → 問 32(1)へ
- 2. 勧めたいとは思わない → (2)へ
- 3. わからない → 問 32(1)へ

(2)勧めたいとは思わない理由は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

- 1. 他の利用者サービス内容を区別することが難しいため
- 2. 手続きが煩雑なため
- 3. 制度を良く知らないため
- 4. 報酬単価が安く専門職の人材を配置しているため、事業所の経営が成り立たないため
- 5. 無資格者を確保するのが困難であるため
- 6. 有資格者への配慮のため
- 7. 社内での研修など無資格者を育成することが困難であるため
- 8. その他()

問32(1) 現在支援している要支援の方の中で、通所介護事業所での入浴を希望する方はいますか。いる場合は人数を教えてください。

- 1. いる(人) 2. いない

(2) 要支援の方にとって、通所介護事業所での入浴は、自立支援の観点から、必要不可欠なサービスだと思いますか。どちらかを選んでください。

- 1. 自立支援の観点から必要不可欠である 2. 必要不可欠ではない

→ 問42にお進みください

特別養護老人ホームにおたずねします

問33 入所者の平均的な入所期間はどのくらいですか。(令和4年10月末現在)

(約 年 月)

問34 平均要介護度はいくつですか。

(平均)

問35 入所者の中で、定期的に診療を受けている人の数を通院、訪問診療それぞれについて教えてください。

- ①定期的な通院(人) ②医師による訪問診療(人)

問36 退所者について

(1) 退所者は、過去1年間(令和3年4月1日～ 令和4年3月末)、何人いましたか。

(人)

(2)(1)の退所者の対処先を教えてください。過去1年間(令和3年4月1日～ 令和4年3月末)

- ①病院 (人)
- ②老人保健施設 (人)
- ③他の特別養護老人ホーム (人)
- ④在宅 (人)
- ⑤死亡のため (人)
- ⑥その他(退所先: 人)

→ 問 42にお進みください

老人保健施設におたずねします

問37 入所者の平均的な入所期間はどのくらいですか。(令和4年10月末現在)

(約 年 か月)

問38 平均要介護度はいくつですか。

(平均)

→ 問 42にお進みください

認知症対応型共同生活介護事業所におたずねします

問39 入所者の平均的な入所期間はどのくらいですか。(令和4年10月末現在)

(約 年 か月)

問40 平均要介護度はいくつですか。 ※要支援者は除く

(平均)

問41 退所者について

(1) 退所者は、過去1年間(令和3年4月1日～令和4年3月末)、何人いましたか。

(人)

(2)(1)の退所者のその後の状況を教えてください。過去1年間(令和3年4月1日～ 令和4年3月末)

- ①病院 (人)
- ②老人保健施設 (人)
- ③特別養護老人ホーム (人)
- ④他の認知症高齢者グループホーム (人)
- ⑤養護老人ホーム (人)
- ⑥有料老人ホーム、ケアハウス (人)

- ⑦サービス付き高齢者向け住宅（ 人）
- ⑧在宅（ 人）
- ⑨死亡のため（ 人）
- ⑩その他(退所先: 人)

新型コロナウイルス感染症の影響について

問42 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるサービス利用者の減少がどの程度ありましたか。あてはまるものを選んでください。

- 1. 非常に減った
- 2. やや減った
- 3. あまり減らなかった
- 4. ほとんど変わらなかった

問43 新型コロナウイルス感染症の対策として、注意したことについてあてはまる内容をすべて選んでください。その他の場合は具体的にお答えください。

- 1. 手洗い、手指の消毒
- 2. マスクの着用
- 3. 必要に応じて防護服の着用
- 4. ゾーニング
- 5. 身体的距離の確保
- 6. 換気
- 7. 面会の制限など
- 8. 外出制限
- 9. 外出制限による低下する運動能力などの維持
- 10. 職員の確保
- 11. アルコールなど物品の確保
- 12. その他()

問44 特に苦勞した例がありましたらご記入ください。

自由意見

問45 何かご意見がありましたら記入してください。